

# 避難行動等の調査(案) 概要

資料2-3

## 調査の目的

- 平成23年3月11日当日等における地震・津波からの避難行動を把握することにより、今後の防災施策への示唆を得る。
- 実施にあたっては、津波防災に関するWGの6つの検討事項を勘案しつつ、今後の施策展開を展望し、記録に『残す』、理由・課題を『明かす』、施策・実践に『活かす』というキーワードを設定し行うこととする。

## [WGの検討事項]

1. 情報と避難行動の関係

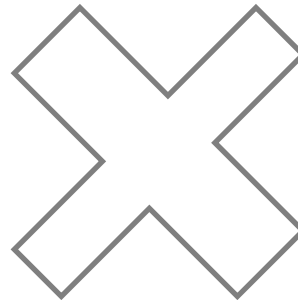
2. 情報伝達手段とそのあり方

3. 避難支援者の行動のあり方

4. 自動車ですべて安全かつ確実に避難できる方策

5. 津波からできるだけ短時間で円滑に避難ができる方策

6. 防災意識の向上



## [本業務における被災地実査の視点]

○ 記録に『残す』

○ 理由・課題を『明かす』

○ 施策・実践に『活かす』

## 調査対象と概要等

対象	対象地域	調査方法(案)	調査項目(案)
①被災者	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県、宮城県、福島県内の沿岸市町村</li> <li>約10,000票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査手法               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 訪問留置手法</li> <li>✓ 層化二段階による抽出を想定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波に対する意識</li> <li>避難行動における「プッシュ(促進)要因」と「プル(阻害)要因」</li> </ul>
②市町村、避難支援者	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県、宮城県、福島県内の沿岸市町村</li> <li>1市町村20機関程度。 注)対象市町村数、自治体の規模の大小による割付等は要検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記団体への面接調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 市町村</li> <li>✓ 事業所・サービス業</li> <li>✓ 病院・社会福祉施設</li> <li>✓ 自治会・民生委員</li> <li>✓ 消防団</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災当日の情報入手・伝達状況</li> <li>震災当日の避難誘導状況</li> <li>今後の課題 等</li> </ul>
③特定集落 注)集落の規模は字・丁目もしくは消防団分団がカバーする程度のエリアを想定(数十～200世帯/集落)	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県内の8～12集落を想定</li> <li>各集落:20～30世帯程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別世帯訪問による面接調査</li> <li>人的被害の状況や当日の避難の状況などを確認の上、集落を選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波に対する意識</li> <li>避難行動における「プッシュ(促進)要因」と「プル(阻害)要因」</li> <li>集落の住民がどのように避難したか(概ねの全体像)</li> <li>「個人」と「集落」としての意識・行動</li> </ul>
④大津波警報発表地域住民(東北3県除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大津波警報発表地域(沿岸エリア居住者・在勤者で平成23年3月11日に沿岸に居た人(数百程度)を想定)</li> </ul>	インターネットによるアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災当日の情報入手状況</li> <li>避難の有無</li> <li>震災以降の意識の変化</li> </ul>